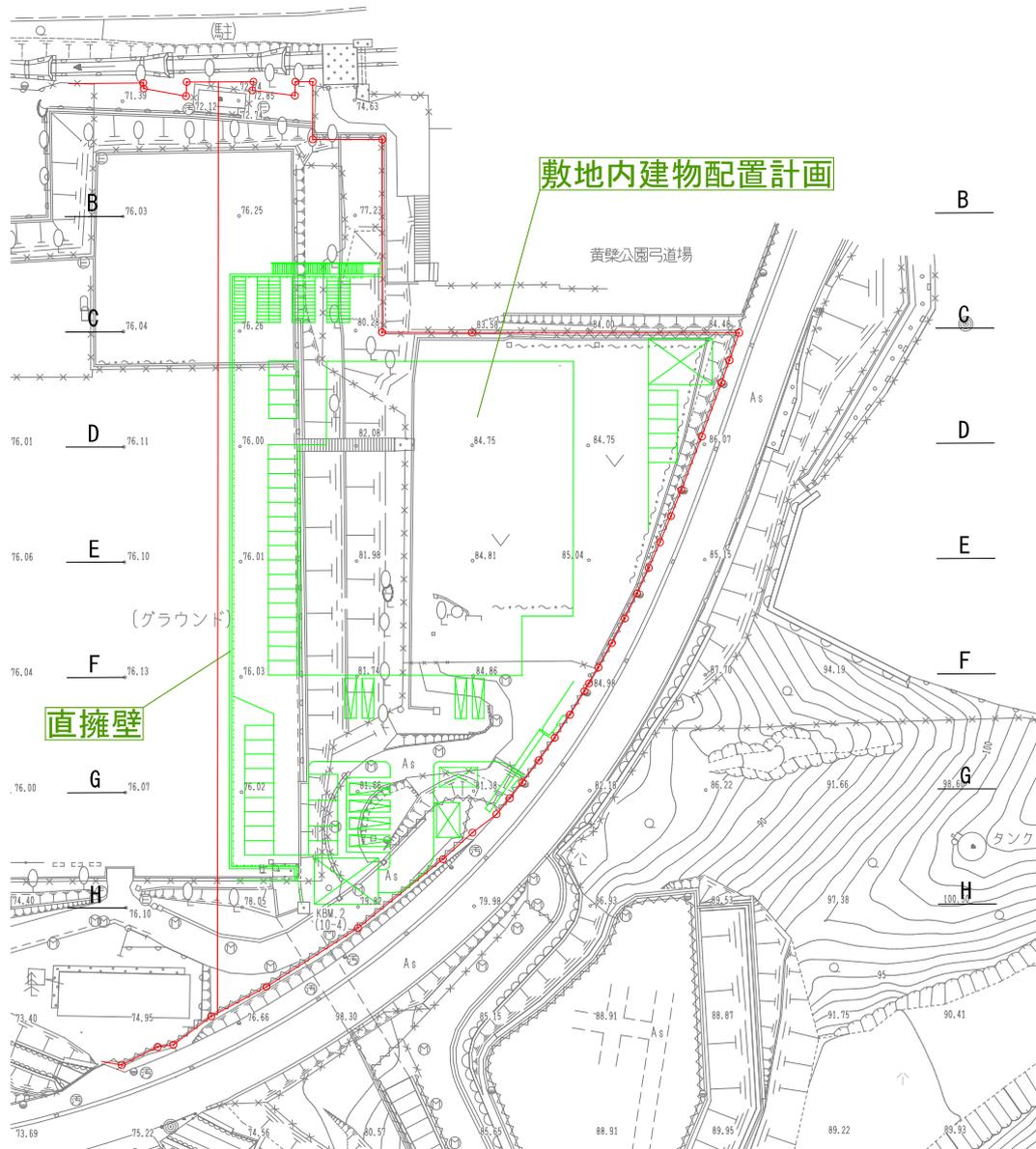


### 3. 整地設計

#### 3-1. 設計計画

指定された計画地内において、土量バランスを考慮した土量配分計画を行ない、計画地盤高 (FL) を設定した。なお、測量平面図、横断面図および敷地内建物配置計画については、発注者より提供されたデータとなっている。



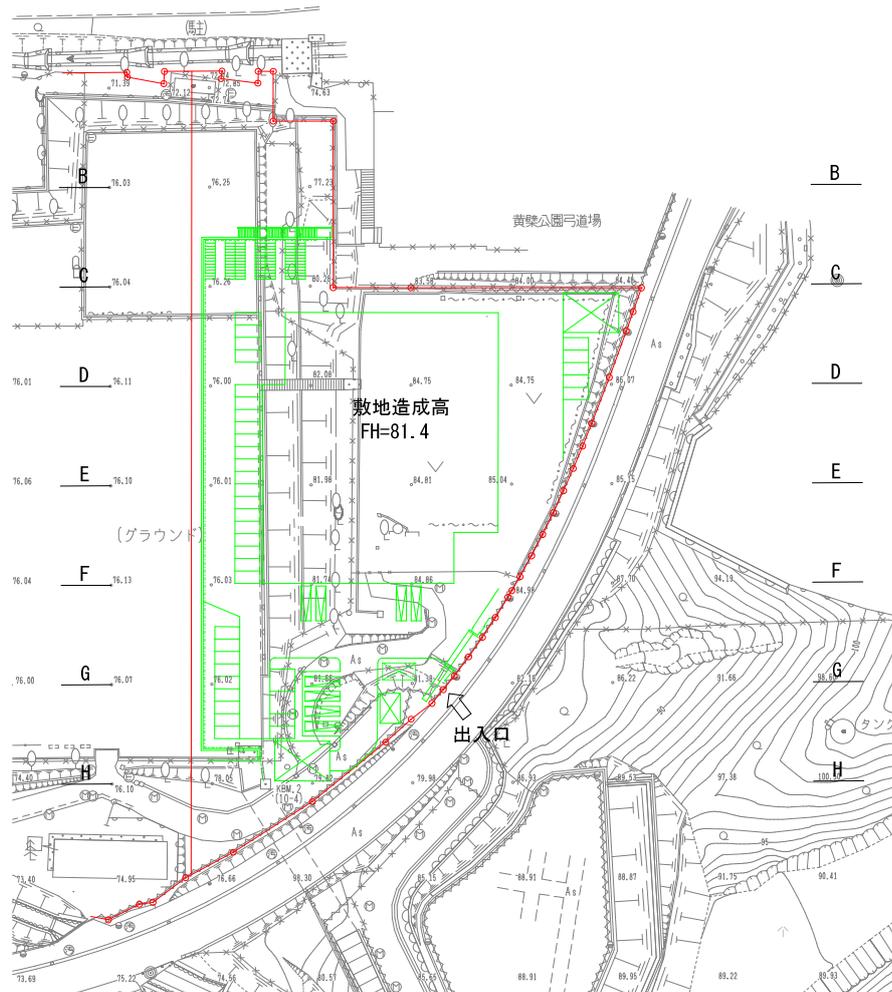
### 3-2. 土量配分計画

切土量と盛土量の差が0に近づく高さを繰り返し計算により求めた結果を以下に示す。

検討の結果、計画造成高はFH=81.4mに設定した。出入口位置は下図位置付近となる。次頁以下に各設定高さの横断面図および土量計算書を添付する。

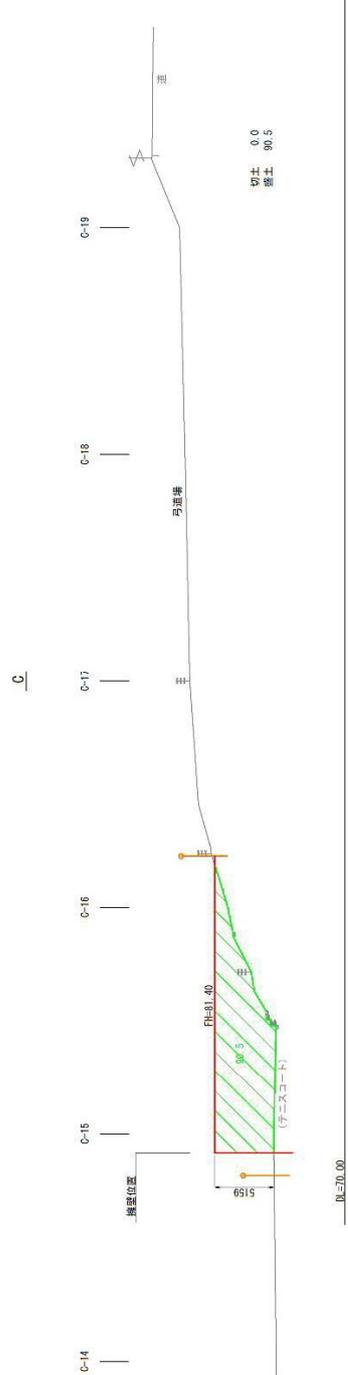
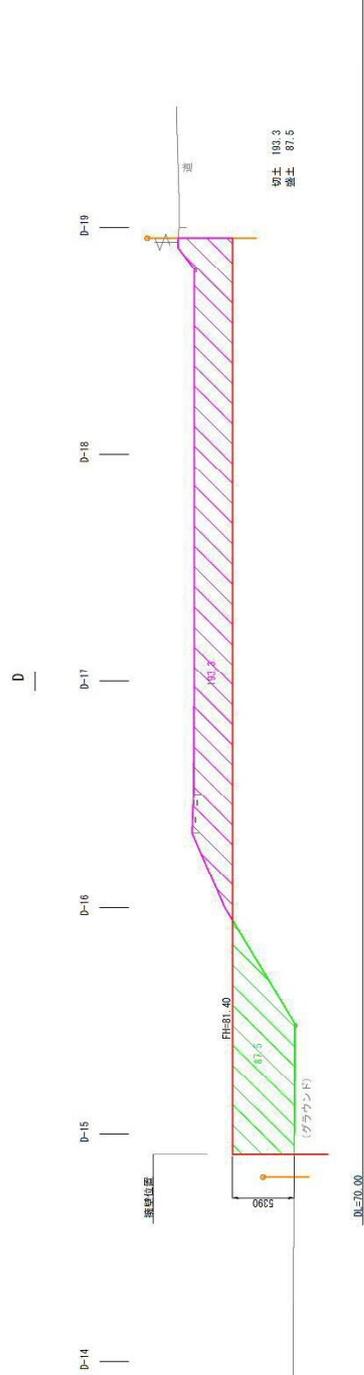
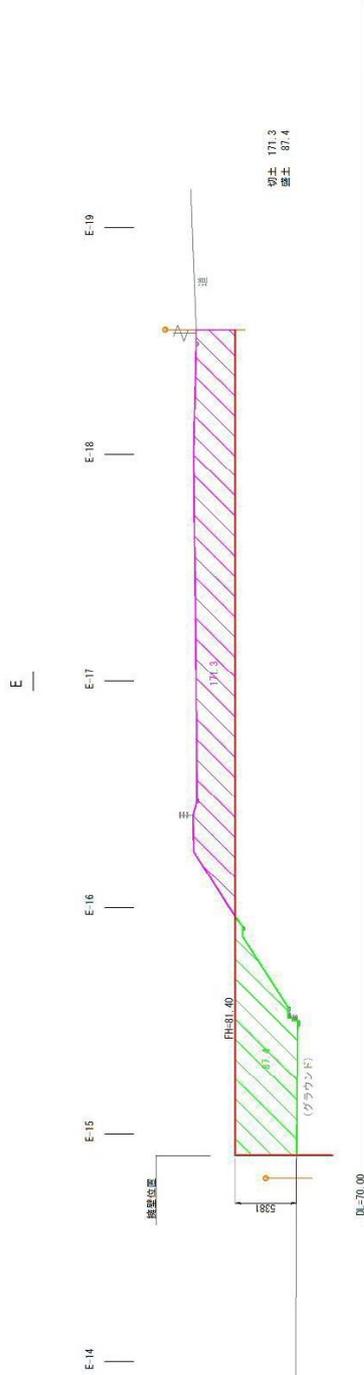
給食センター敷地造成 土量配分計画

計画造成高 FH	切土量	盛土量			+：残土 -：不足土	判定
		断面土量	C(土砂)	必要盛土量		
81.0	11870.4	8259.2	0.9	9176.9	2693.5	
81.4	10352.2	9147.3	0.9	10163.7	188.5	○
81.5	9987.6	9376.6	0.9	10418.4	-430.8	
82.0	8287.2	10676.4	0.9	11862.7	-3575.5	



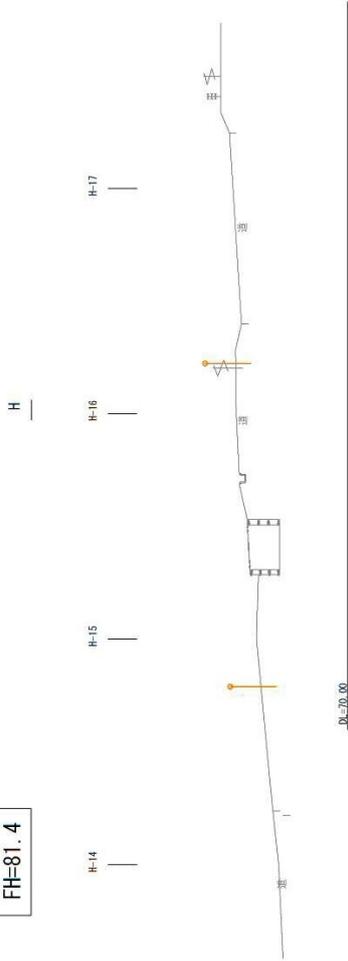
○FH=81.4m (採用高)

FH=81.4

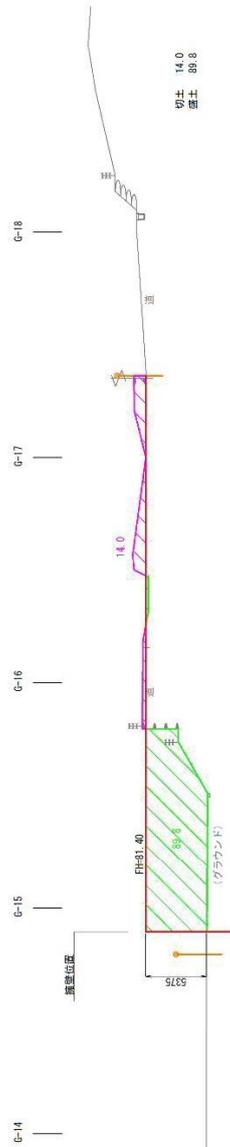


工程	完成	年度	工事
区工番号			第 号
区工名			種内
区工区画			種内
図面種類			
縮尺	S=1/200		
作成			
校核			
承認			
図面番号	使之内		

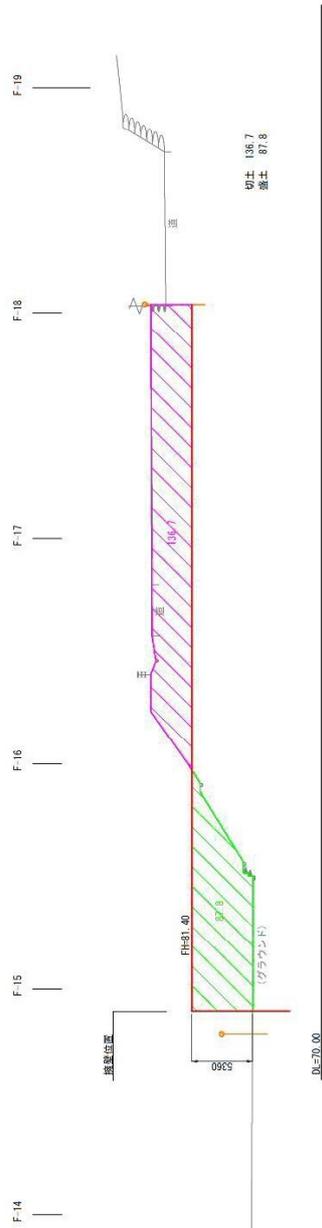
FH=81.4



G



F

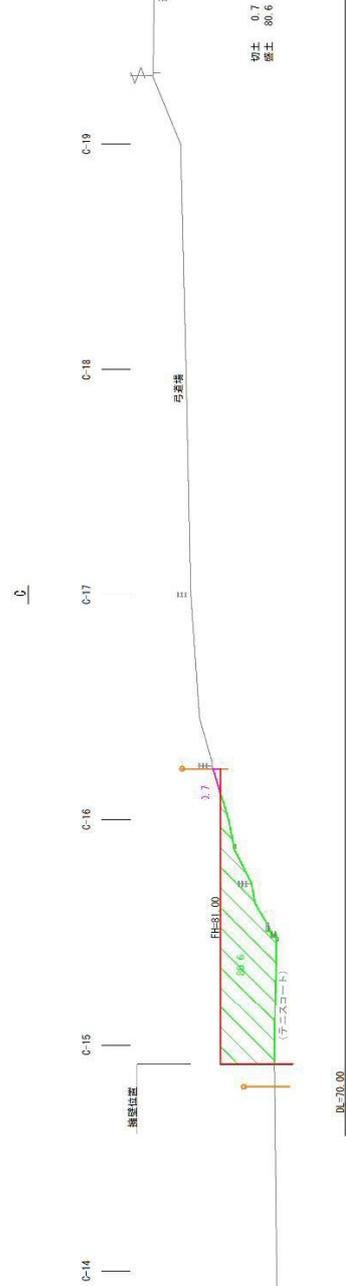
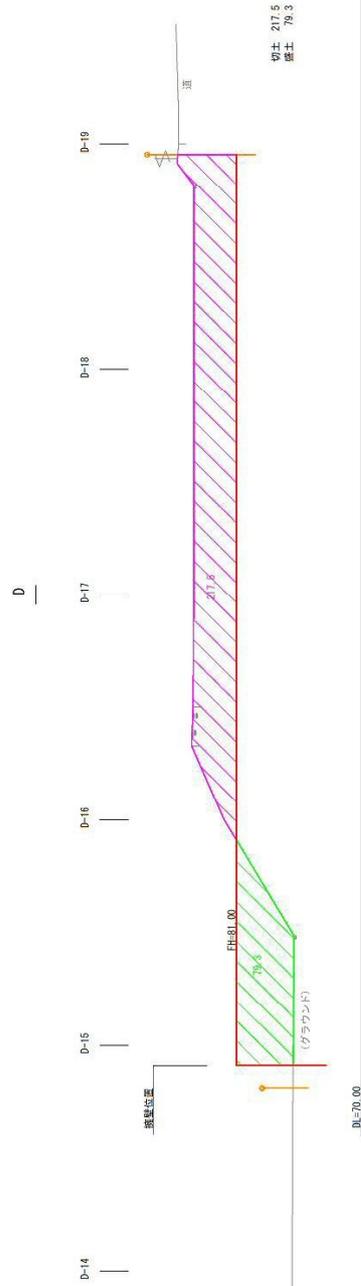
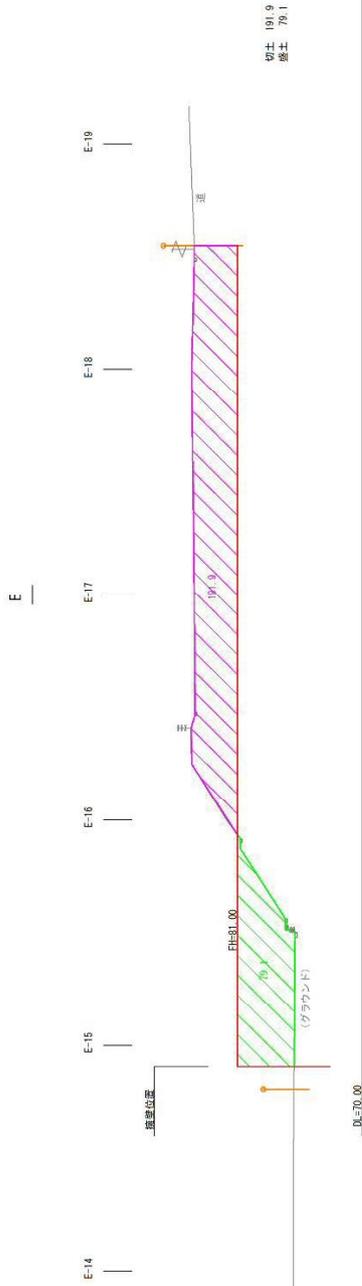


工種	年度	工事
配工番号	第	号
配管名		
配管種別		地内
図面番号	S-11200	
図面	2	2
図面	3	3
図面	4	4
図面	5	5
図面	6	6
図面	7	7
図面	8	8
図面	9	9
図面	10	10
図面	11	11
図面	12	12
図面	13	13
図面	14	14
図面	15	15
図面	16	16
図面	17	17
図面	18	18
図面	19	19
図面	20	20
図面	21	21
図面	22	22
図面	23	23
図面	24	24
図面	25	25
図面	26	26
図面	27	27
図面	28	28
図面	29	29
図面	30	30
図面	31	31
図面	32	32
図面	33	33
図面	34	34
図面	35	35
図面	36	36
図面	37	37
図面	38	38
図面	39	39
図面	40	40
図面	41	41
図面	42	42
図面	43	43
図面	44	44
図面	45	45
図面	46	46
図面	47	47
図面	48	48
図面	49	49
図面	50	50
図面	51	51
図面	52	52
図面	53	53
図面	54	54
図面	55	55
図面	56	56
図面	57	57
図面	58	58
図面	59	59
図面	60	60
図面	61	61
図面	62	62
図面	63	63
図面	64	64
図面	65	65
図面	66	66
図面	67	67
図面	68	68
図面	69	69
図面	70	70
図面	71	71
図面	72	72
図面	73	73
図面	74	74
図面	75	75
図面	76	76
図面	77	77
図面	78	78
図面	79	79
図面	80	80
図面	81	81
図面	82	82
図面	83	83
図面	84	84
図面	85	85
図面	86	86
図面	87	87
図面	88	88
図面	89	89
図面	90	90
図面	91	91
図面	92	92
図面	93	93
図面	94	94
図面	95	95
図面	96	96
図面	97	97
図面	98	98
図面	99	99
図面	100	100



○FH=81.0m

FH=81.0



工区	年度	年度	工事
北江谷分			
区名			
区1級別			地内
区別		S=1,200	
区1			
区2			
区3			
区4			
区5			
区6			
区7			
区8			
区9			
区10			
区11			
区12			
区13			
区14			
区15			
区16			
区17			
区18			
区19			
区20			
区21			
区22			
区23			
区24			
区25			
区26			
区27			
区28			
区29			
区30			
区31			
区32			
区33			
区34			
区35			
区36			
区37			
区38			
区39			
区40			
区41			
区42			
区43			
区44			
区45			
区46			
区47			
区48			
区49			
区50			
区51			
区52			
区53			
区54			
区55			
区56			
区57			
区58			
区59			
区60			
区61			
区62			
区63			
区64			
区65			
区66			
区67			
区68			
区69			
区70			
区71			
区72			
区73			
区74			
区75			
区76			
区77			
区78			
区79			
区80			
区81			
区82			
区83			
区84			
区85			
区86			
区87			
区88			
区89			
区90			
区91			
区92			
区93			
区94			
区95			
区96			
区97			
区98			
区99			
区100			

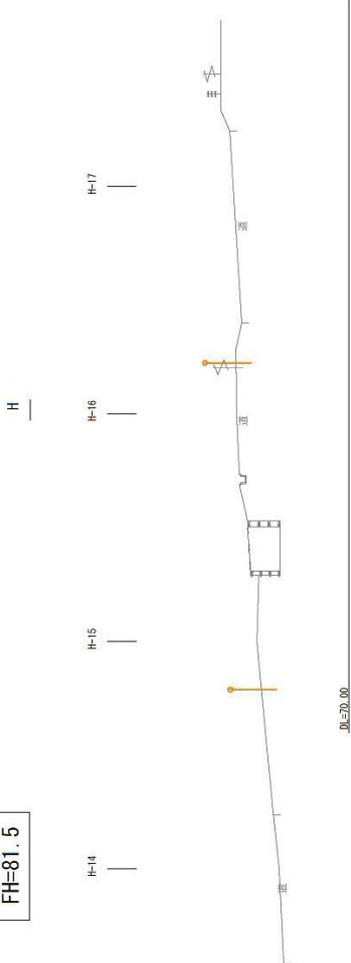




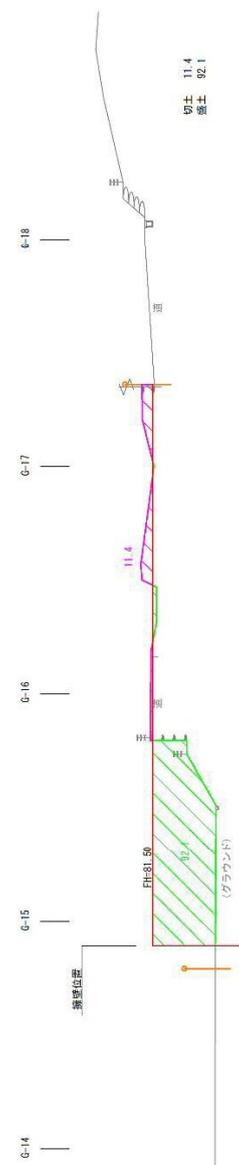
○FH=81.5m



FH=81.5

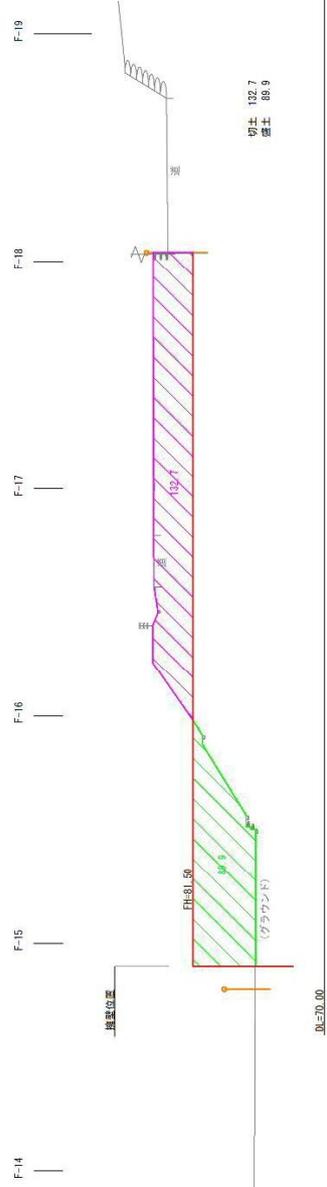


G



DL=70.00

F



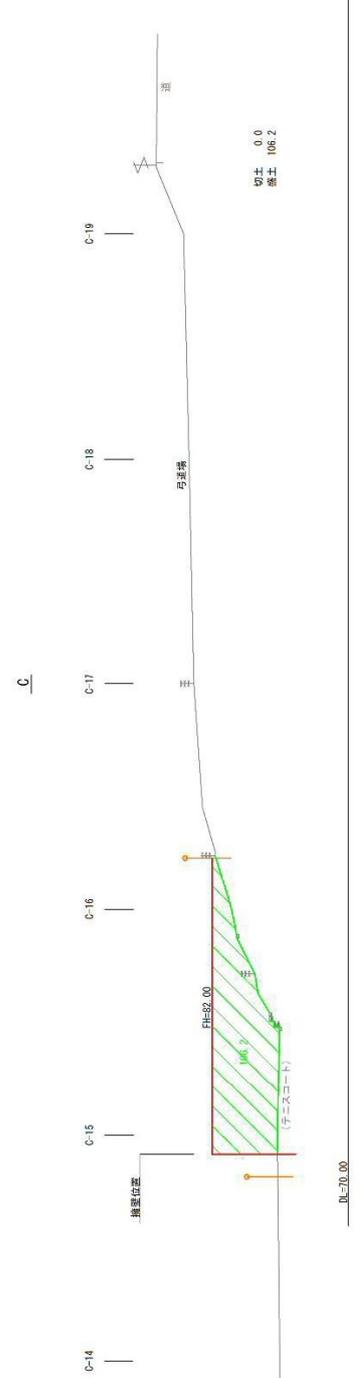
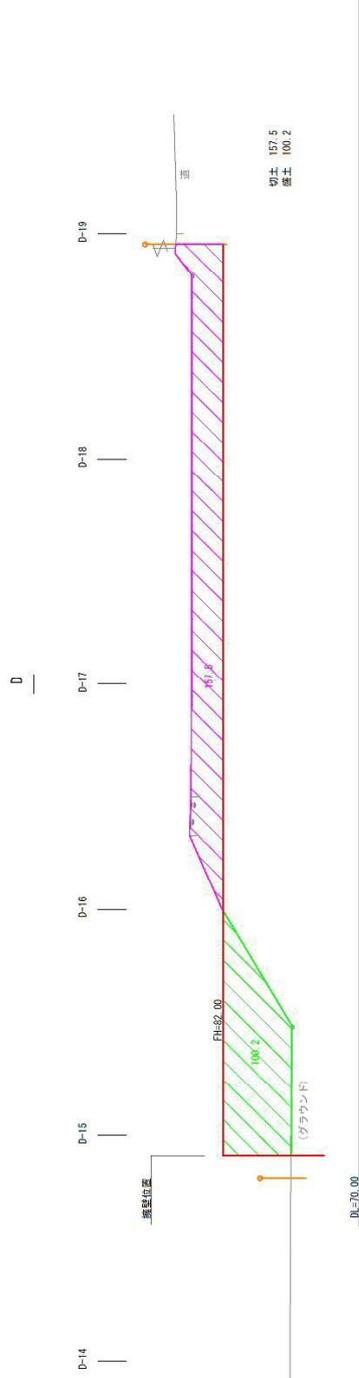
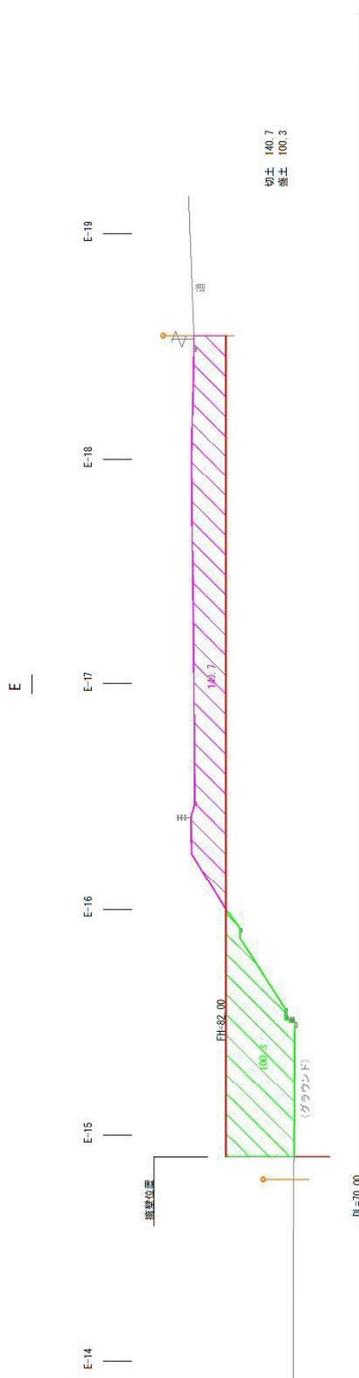
DL=70.00

正位	年度	年度	工号
起工簿号	版	版	号
施主住所			地区
図面題名			
縮尺	S=1/200		
作成	作成	作成	作成
年	月	日	日
図面番号	表之内		



○FH=82.0m

FH=82.0



工種	平成	年度	工事
配付番号	第	号	
設計名			
施主名称	郡内		
図面集帳	S-1200		
図号	冊	頁	枚
訂正	冊	頁	枚
図面番号	組立図		

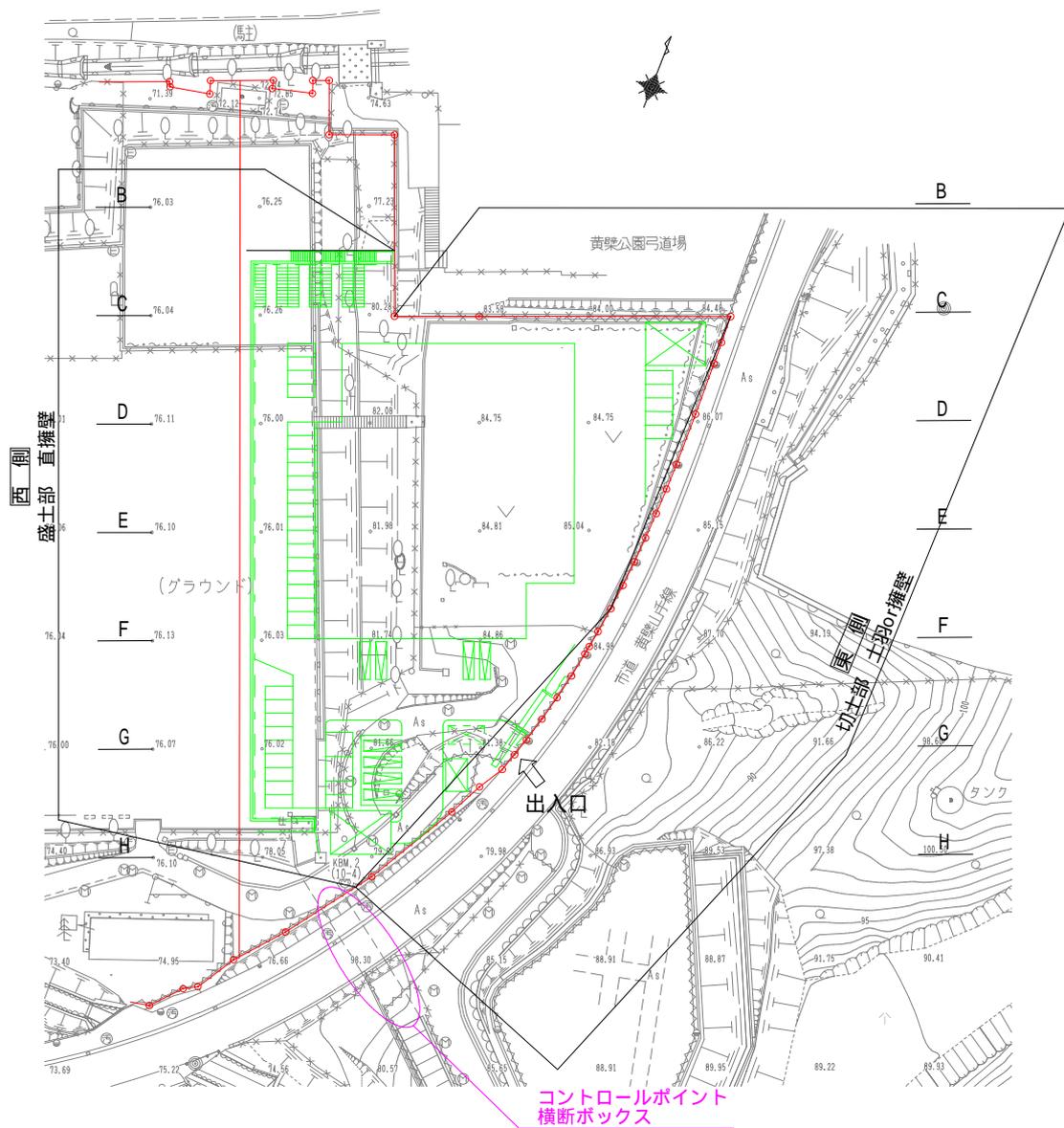




### 3-3. 平面横断計画

決定した計画敷地高 FH=81.4mにて、敷地配置計画と周辺現況との取合いについて検討を行った。なお、敷地南側の市道黄檗山手線を地下で横断しているボックスはコントロールポイントとなる。計画概要は以下のとおり。

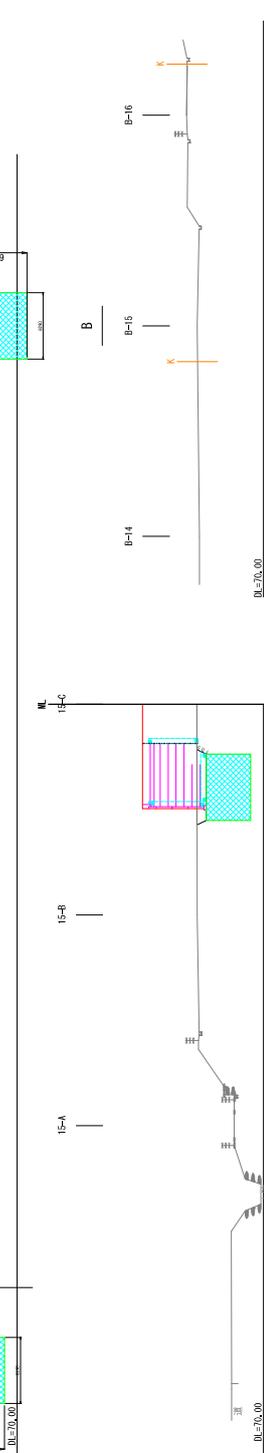
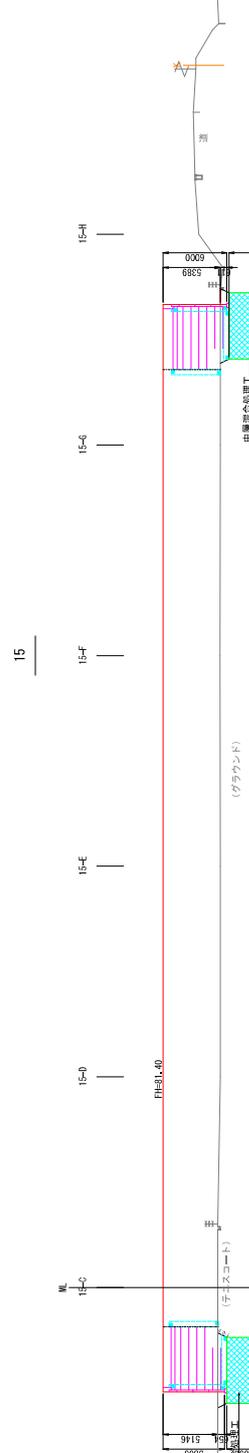
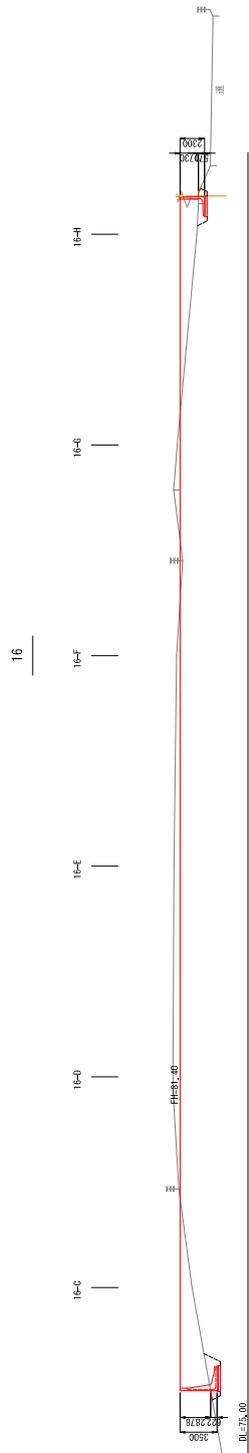
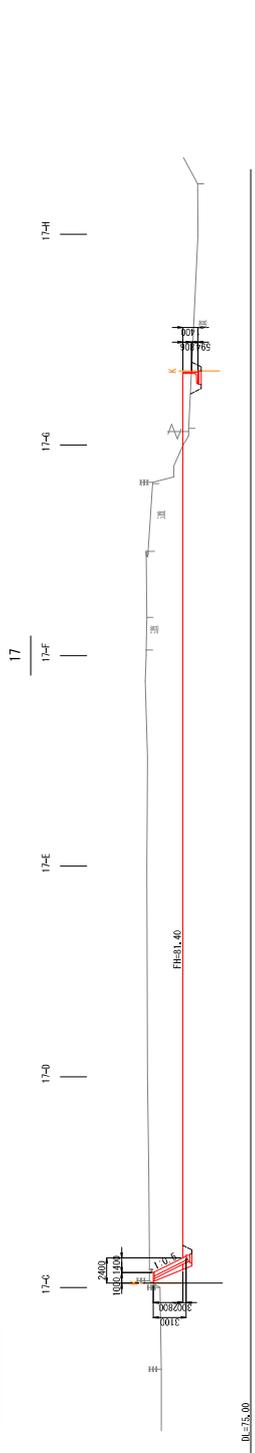
- 敷地西側（盛土部）：配置計画が開発境界に近い位置となるので直擁壁構造
- 敷地東側（切土部）：以下の2案作成
  - (1)全擁壁案
  - (2)擁壁+土羽構造案







FH=81.4 全擁壁



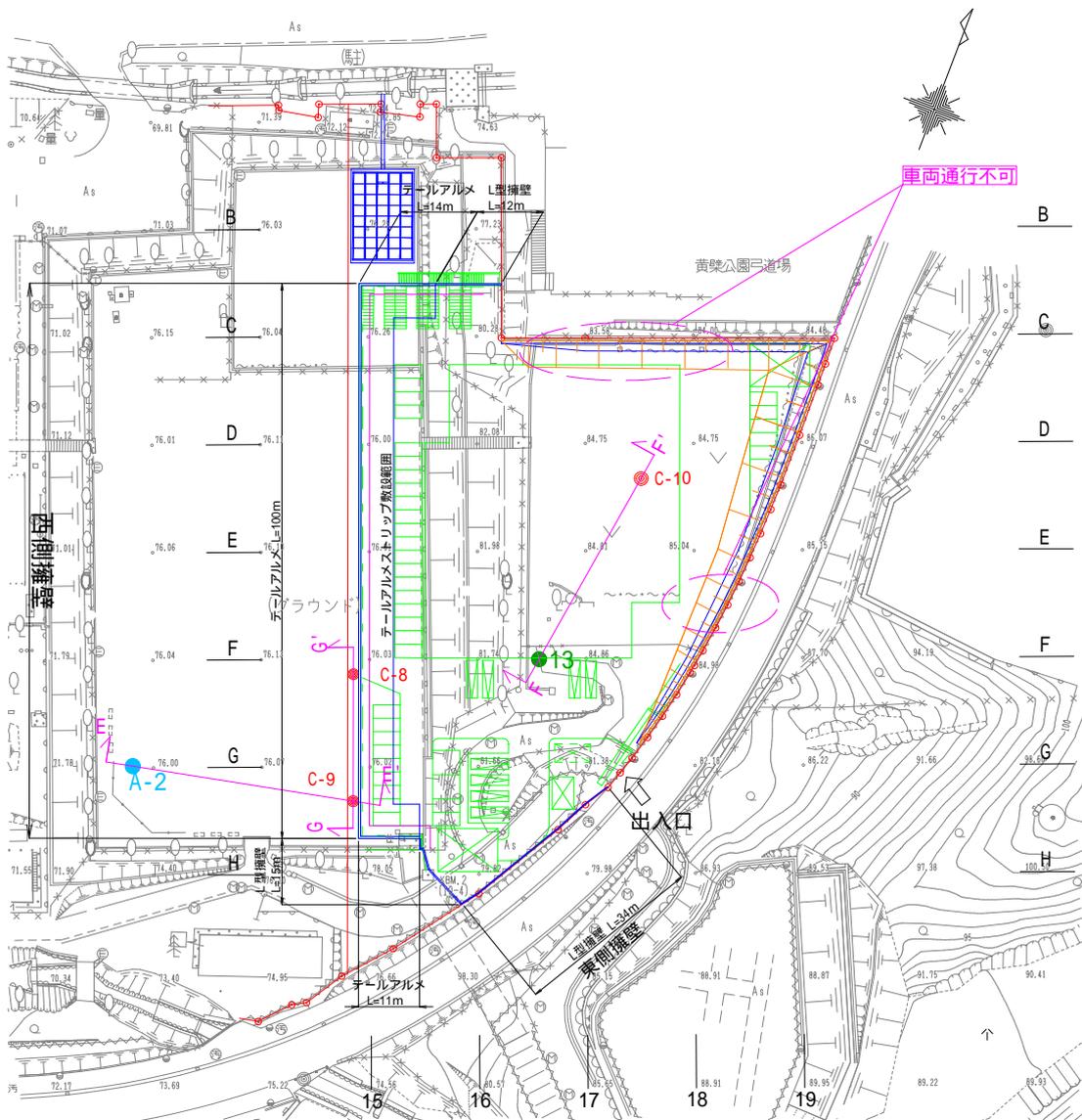
工程	番	号
加工番号		
図名	字出用主・柱三層計 社内	
図面番号	S-11-200	
縮尺	1/20	
作成	1/21	1/21
承認	1/21	1/21
印刷番号	1/21	1/21

## (2) 擁壁+土羽構造案

西側擁壁は全擁壁案と変わらないが、切土部である東側について土羽構造とした案。  
法面勾配は、地盤調査結果より現況地盤が盛土によって形成されているため、埋土扱  
いとし、 $30^\circ$ 以下である $1:1.8$  ( $29^\circ$ )とした。

現配置計画では、建物位置との離合が確保できないため、車両通行ができない。  
以下に計画平面図および代表横断面図を添付する。

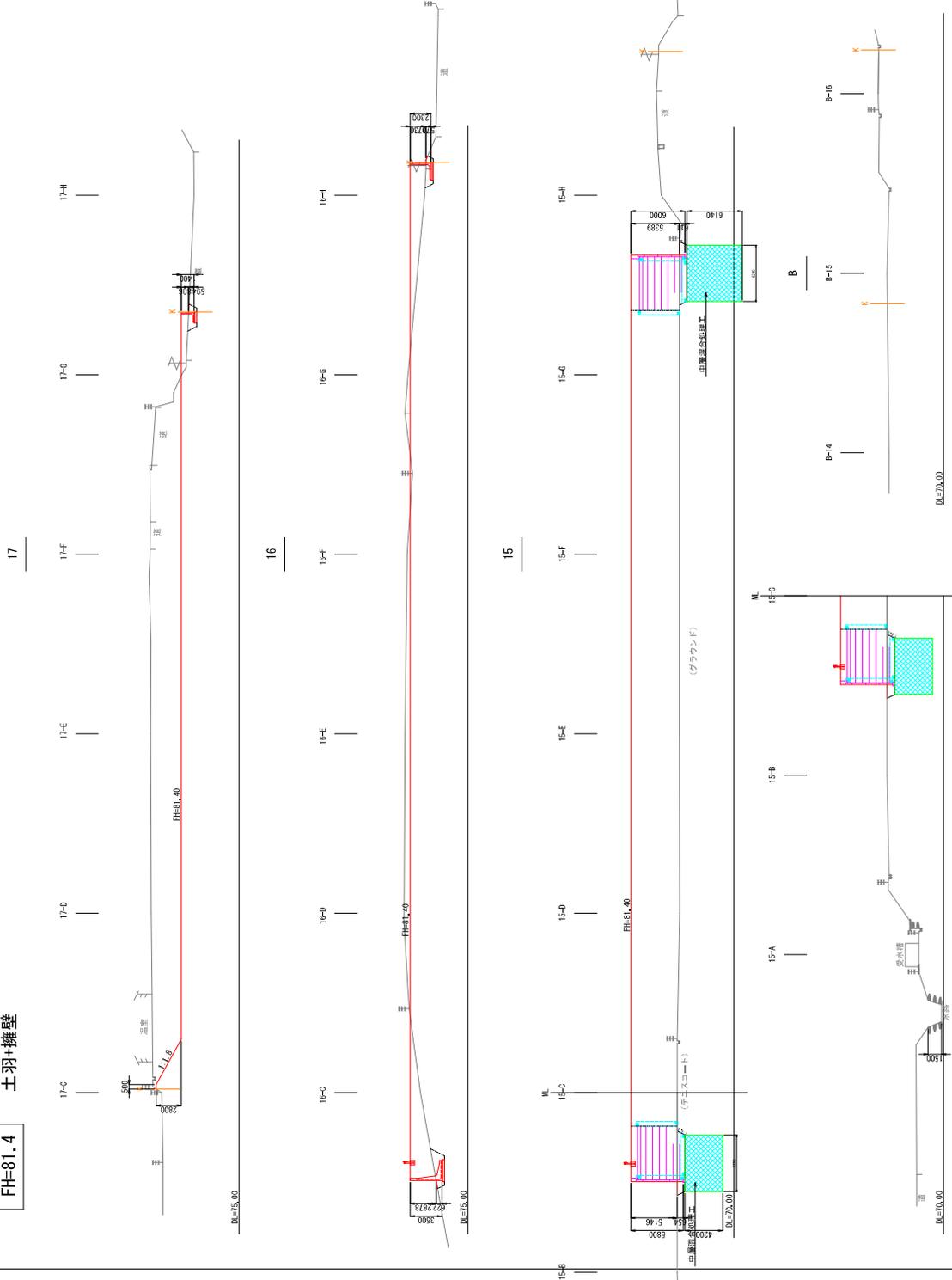
平面図





FH=81.4

土羽擁壁



工種	令和	年度	工事
起工番号			第
起工名			号
竣工期			
竣工種別	平治町五ヶ丘三番線 市内		
図面種類	断面図		
縮尺	2=1/200		
図面番号	第21号		